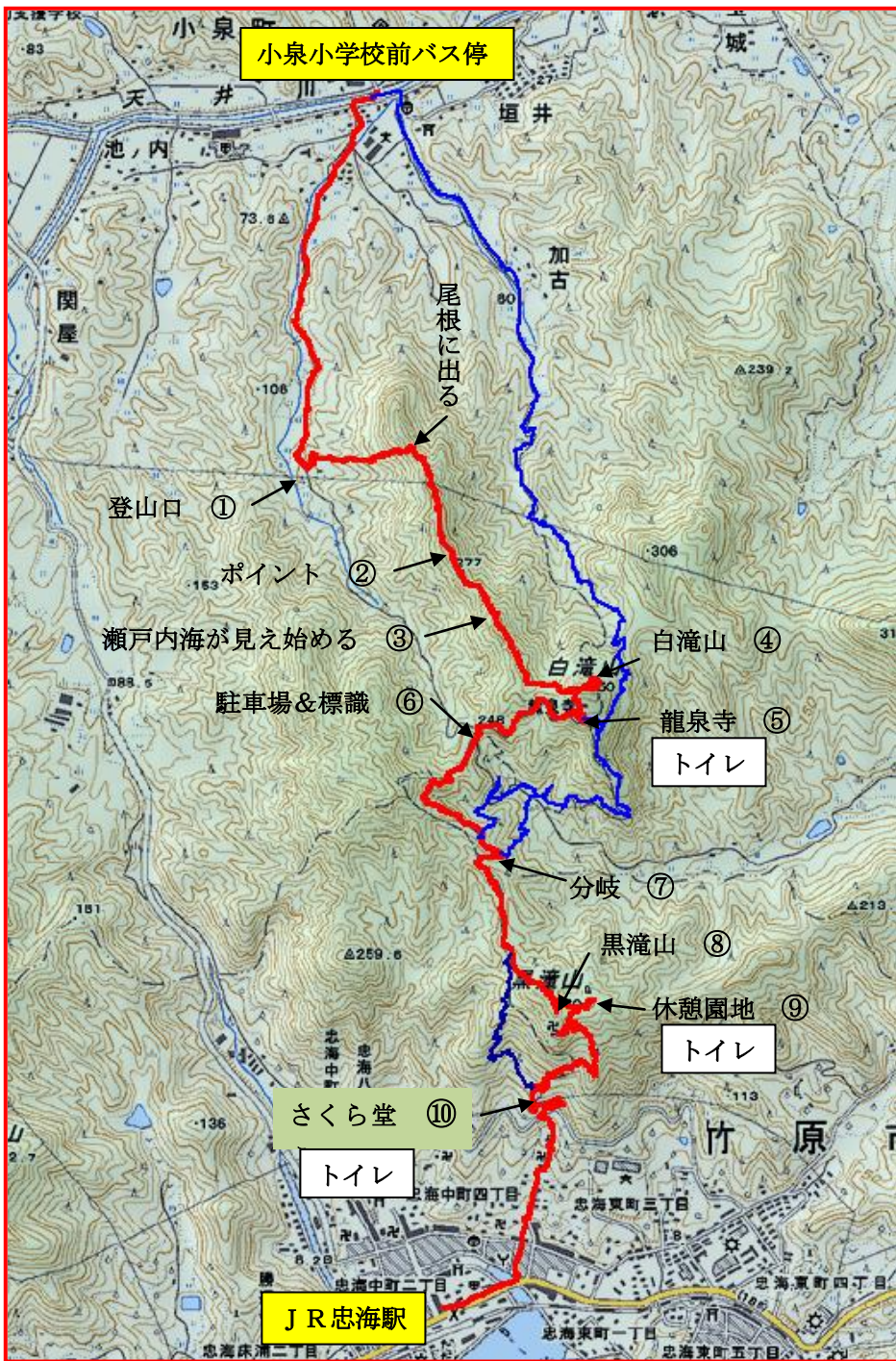


# 白滝山から黒滝山縦走 両山頂からの展望と縦走を楽しむ

芸陽バスの「小泉小学校前」バス停からJR忠海駅までを縦走するルートを紹介する。距離は約7Km、累積標高差が約+670m、歩行時間は3時間強（休憩時間を除く）。

登山口①から白滝山へ向かう尾根歩きルートは、一部岩場もあり、中級者向けである。（白滝山まで、左図青線の旧参道をたどれば、危険な箇所は全くなく、初心者で



も大丈夫である）

まず、「小泉小学校前」バス停から登山口までは、舗装された車道を歩く。登山口は分かり難いので注意すること。道路沿いに沢山並ぶ、地藏さんの道標の中で、「駐車場迄1200m」が目印。登山口①は左手で、ベンチが一つあり、木の枝に小さな「白滝山へ」の標識が掛っている（ポイント①の写真参照）。

最初は左にそして右にと曲がりながら登ると、後はほぼ一直線に尾根に向かって登る。階段も設けられており、結構きつい登りである。尾根に出たら、右にルートを取り、送電鉄塔下を通過後、小さなアップダウンを繰り返しながら進む。やがて前方に三角形をした岩のピークが現れる（ポイント②）。頂上には登らず、左に巻き、次い

で右に巻いて通過する。ここは迷いやすい所であり、かつ岩場を通過する、一番の難所であり、十分注意すること（ポイント③）。この難所を通過すると、目の前に瀬戸内海の眺望が広がる。後は道なりに進めば「白滝山」（350m）④も近い。頂上に鎮座する豊岩から、360度の展望を満喫しよう。瀬戸内海の島々・多々良大橋そして天気が良ければ、四国山脈も望める。豊岩の側面の磨崖仏も素晴らしい。眺望を楽しんだら、すぐ下の「龍泉寺」⑤を経由して、右に道を取り、駐車場⑥へ向かう。左端に、標識があり「黒滝山まで1.1Km」とある。整備された遊歩道に入り、道なりに進むが、途中何箇所か分岐がある。標識を見落とさず、指示に従って進む。間違いやすいのは、分岐⑦。直進せずに、右へ下って行く。やがて、黒滝山への最後のきつい階段が現れる。ひと踏ん張りすれば、黒滝山（270m）頂上⑧に着く。海側に廻れば、ベンチもあり、真下に忠海の町や瀬戸内海の絶景が迎えてくれる。白滝山からの眺めに比べ、海が近いだけに、一味違った眺めである。

景色を堪能したら、JR忠海駅へ向かおう。少し下りた所に、休憩園地⑨があり、更に少し下ると、右手に観音堂や鐘つき堂があるので寄ってみよう。道はよく整備されており、道中には三十三観音石仏そのものやそこへ至る標識が沢山目につく。「ミニ西国三十三カ所霊場」をなしており、全部巡ると3時間は掛るといわれる。どんどん下り、「さくら堂」⑩そして「地藏院」を経由して国道185号線へ出て右折すれば、すぐにJR忠海駅である。尚、上記地図に示す様に、今回紹介した赤線のルート以外に、青線で示したルートもあるので、それらを加えると、変化に富んだ山歩きが楽しめる。

## アクセス

行き…三原駅から芸陽バスの「小泉線」で「小泉小学校前」下車

帰り…JR呉線の忠海駅

## チェックポイント

以下の写真を参照されたい。



白滝山山頂からの眺め



黒滝山山頂からの眺め

木に掛けられた小さな標識



このベンチの向こうが登山口



ポイント① 登山口周辺



駐車場迄 1200m と書かれた地蔵標識



ポイント② 行く手にピーク、頂上付近を左右にまく



ポイント③ この岩を越えると視界が開ける



ポイント③ ここで、初めて瀬戸内海の展望が開ける



分岐⑦： 右へ坂を下る。直進すると白滝山へと続く